

## なごや環境大学“おかえりやさいつアー”開催報告

2023年12月1日(土)なごや環境大学共育講座資源循環(3R・ごみ問題・産業廃棄物)「おかえりやさいつ」を知って学んで味わって楽しもう！が開催されました。

最初にコープ大高インター店を訪問、店内の株式会社ケミカルフォース名古屋工場のリサイクル処理施設で食品廃棄物を肥料化した食品循環系肥料「有機フレン土」を使って生産された野菜が並んでいる JA なごや生産者の直売コーナー「おおだかひろば」を見学。お店のバックヤードで、堆肥化やガス化の原料となる、野菜くずなどを確認しました。そして集会室で、店長よりお店の特徴などを聞きました。

そして、JA なごや組合長の山口義博様の圃場へ移動、山口さまより、有機フレン土を使つての土づくりなど良い野菜をつくるご苦労などを説明頂き、ブロッコリーの収穫体験を行いました。大根や愛知県の伝統野菜の八事五寸にんじんなども収穫することができました。土づくりからしっかり行い、化学農薬・化学肥料を減らした環境保全型農業に取り組んでおられ、とても立派な農産物を栽培されており参加者は大満足でした。

続いて、株式会社オオブユニティリサイクルプラント横根工場のバイオガス発電施設を見学させて頂きました。オオブユニティの発電施設は処理能力70t/日、発電量15,000kW/日と中部地区では最大級の施設です。様々な食品廃棄物を受入れメタン発酵でガス化、発電しています。受入れのホッパーから選別機、メタン発酵槽、発電エンジンまで見せて頂きました。

横根工場は8年前の2015年から稼働し、かなり古い施設にも関わらず施設は清潔に保たれており、臭気が少ないことに参加者が驚いていました。施設全体が負圧化され臭気が漏れるのを防いでいること、脱臭装置で無臭化していることなどが効果を上げています。

事務所で、オオブユニティの進めている事業など、説明頂きました。1957年の創業以来、廃棄物処理を進めてきており、廃棄物を再資源化する取組み、低炭素社会の推進やエネルギーの地産地消の実現などを視野に入れ、地球環境に負荷を与えない新しい社会システムの構築を考えているとの真摯な姿勢に思わず参加者から拍手が起こっていました。

コープ大高インター店「おおだかひろば」



圃場で生産者の山口さんのお話を聞く



ブロッコリーの収穫体験



オオブユニティ食品廃棄物の受入



メタン発酵槽



発電エンジン

